

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	令和4年度 第2回嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会	
開催日時	令和4年11月30日(水) 14:00~15:00	
開催場所	塩田保健センター 2階会議室	
傍聴の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	犬尾委員、古河委員、坂口委員、池田委員、石崎委員、 栗山委員、古賀委員、田中委員、藤山委員、宮田委員
	事務局	市長、市民福祉部長、健康づくり課長 同課副課長、同課主査
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	第2回嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会資料	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	第1号 佐賀県国民健康保険の一本化及び納付金制度について 第2号 令和5年度国民健康保険標準保険税率を踏まえた税額・税率(案)について		
内 容			
審議経過	市長	(市長あいさつ)	
	会長	(会長あいさつ)	
	事務局	(会議成立の報告)	
	会長	(会議録署名委員の選任) 署名委員を保険医代表として栗山委員、被保険者代表を藤山委員に選任してよいでしょうか。	
		≪異議なし≫	
	事務局	議題第1号「佐賀県国民健康の一本化及び納付金制度について」 (内容は資料による)	
		(質疑なし)	
	事務局	議題第2号 「令和5年度国民健康保険標準保険税率を踏まえた税額・税率(案)について」 (内容は資料による)	
	委員	税率が下がった要因で、前期高齢者交付金が増加したとありますがもう少し説明をお願いします。	
	事務局	前期高齢者交付金というのは国から佐賀県全体に交付されるもので、2年前に概算で交付された分を2年後に精算するような仕組みになります。2年前の概算で少なく交付されていたため、不足分が追加で交付	

審議経過		<p>されたのが県全体で 13 億円となります。これは毎年追加交付されるわけではなく、返さないといけない年もあります。今回 2 年続けて追加交付となりましたが、来年度は返還しないといけない年になるかもしれません。医療費の状況によって決まるので、国でもその数字の見込を立てることが難しいということです。</p>
	委員	<p>高齢者になればいくつかの病院をかけもって増えてくる。また、医療の高度化によって、寿命も伸びてくるとなれば、1 人あたりの医療費も相当伸びてくるということが推測できると思うので、それに見合うだけの税率为 9 年に統一するのであれば、そこに合わせてという形で税率为試算されていると思っている。13 億円増となったためというだけでは納得ができなかった。結構不安定なところがあると思う。</p>
	事務局	<p>県の 13 億増えた分については、来年度に返還金が生じる場合に備えて県の基金積み立てをされています。</p>
	委員	<p>税率据え置きの方でいいと思います。将来的に税率が上がる見込みなのであれば、事務局の考えられているとおり、緩やかに上げたほうが良いと思います。</p>
	委員	<p>医療費水準についてももう少し教えてもらいたい。杵藤地区について、嬉野市だけ高いのはなぜか。</p>
	事務局	<p>先日、県糖尿病の研修会でも、議題になりましたが、嬉野市はかかりつけ医を持ってらっしゃる方が非常に多いということです。</p> <p>大きな病院小さな病院じゃなくて、身近に病院があるので個人的にかかりつけ医を持っていらっしゃる。特に嬉野市はかかりつけ医を持って心配事があつたらすぐお医者さんに、お話を聞いたりできるので恵まれているというような話でした。</p> <p>今後、後期高齢者が増えていく中で医療費が上がってくるということになると、標準負担税率の介護支援分の国民健康保険は若い世代の方から介護保険に支出すると、税率もかなり上がってくるということが見込まれますので、医療費がどういったものが多いのかなど研究分析して削減する努力をしていかなければならないと考えております。</p>
	委員	<p>何年前に、嬉野市の健康寿命が結構高い、寝たきりが少なく健康寿命が高いという資料があつた。だから医療費が高いのかどうなのかっていうのはちょっとわからない。やっぱり人間寝たきりより健康なことが一番理想かなと思うので、そこら辺の兼ね合いとかその関係性とか</p>

審議経過		<p>をはっきりさせていただければと。やっぱり健康寿命があって、それから医療費がどの程度なのかとか、病気がどうだとか健康に生きていくにはどうすればいいかを考えてほしい。</p> <p>総合的に考えたら医療費は高いということだけではなく健康寿命についても調査していただけたらと思います。</p>
	委員	<p>例えば今出しているお薬や検査を、一つやめることによってどのくらい医療費の差がでるのか。具体的な示しや、目安があればわかりやすいと思います。</p>
	事務局	<p>具体的には把握してはいませんが、国民健康保険事業の中で、以前から問題になっているのが、重複受診です。</p> <p>この重複受診というのを、まずちょっと取り除かなければいけないのかなというふうに考えておるところでございます</p> <p>国民健康保険事業で、保健指導のようなものを保健師さんと管理栄養士さんの方で、やってもらっております。気になる方がいらっしゃったら訪問してお話を伺ったときに、かなりの薬の量だったとか、そういった話もありますし、いろんな病院のお薬を持っておられるというような話もありますので、まず解決していかなければいけないのかなと思っております。</p>
	委員	<p>重複受診についてのデータがあるのですか。</p>
	事務局	<p>国民健康保険に関してはレセプトを管理しておりますので、診療内容もわかりますし、今すぐお示しはできませんけれども、そういったものは把握できると思います。</p> <p>ジェネリック医薬品に変更すると、どのくらい薬代が安くなるかというデータはあります。対象者に差額通知等を送付しています。これは県全体で実施されている事業です。</p>
	事務局	<p>今後のスケジュールについての説明 (内容は資料による)</p> <p>(閉会)</p>